

産業技術科

※カリキュラムモデル科名:テクニカルメタルワーク科



どんな科?

鉄工や物流の業界で必要となる、10の資格と、溶接を中心とした、ものづくりの技能が身に付きます。即戦力となる実践的な資格と技能で、就職に役立てることができます。

ビジネススキル講習付コース(7ヶ月)
開催月 5月・8月・11月・2023年2月
定員 5名

基本コース(6ヶ月)
開催月 6月・9月・12月・2023年3月
定員 12名

令和2年度
就職率

96.8%



この科の
紹介動画を
Check!

主な就職先

- ・鉄骨製造会社(溶接工)
- ・金属器具製造会社(溶接工)
- ・船舶整備漁具製作会社(整備員)
- ・物流会社
(フォークリフト作業員)

費用等

- ・テキスト代 約18,000円
- ・各自で用意するもの
..... 作業帽子、作業服、作業ズボン、安全靴

※作業帽子.....キャップ型。メッシュがあるものは不可。
※作業服・作業ズボン(綿混の長袖、長ズボン).....前職で使用していたものでも可。綿100%の汚れが目立ちにくい色を推奨
※安全靴.....爪先に金属または樹脂のプレート入り。外皮は合皮または皮製のもの

修了生の活躍事例



丹野工業株式会社
S.Aさん

こんな人におすすめ!

- ・毎日コツコツ続けられる人
- ・ものづくりが好きな人
- ・ダイナミックな溶接の仕事をしたい人
- ・資格を取って就職活動に活かしたい人



女性が活躍する会社 に入社できました!

ポリテクセンターで役立ったこと

作業のやり方は会社ごとに違いますが、使ったことのある機械だったので安心感がありました。基礎的知識や、道具の名前が分かるだけでも有り難かったです。溶接については、トーチ角度、溶接棒の種類などの知識が役に立ちました。

入社を決めた経緯

女性が活躍する会社として紹介されたためです。

入所を迷っている方へ

絶対に入所した方が良いです。得にしかありません!

テクノインストラクター 職業訓練指導員からのひとこと

短期間に、たくさんの資格と、技能が身につくお得な訓練です。産業技術科を見逃すのは実にもったいないです。ポリテクセンター米子は溶接検定の会場になっており、訓練の中で検定対策をしますので有利に受験できます。就職活動のアピールポイントになりますので、産業技術科に入所されましたら受験をお勧めします。



受講内容

15日間

1 ビジネススキル講習

- ・企業が求める人材
- ・計画的な訓練受講
- ・傾聴
- ・アサーション
- ・企業内コミュニケーション
- ・ITリテラシー(ワープロ・表計算)



2 ガス溶接・研削といし作業

- ・鋼板の切断に用いるガス溶断
- ・鉄工で用いるグラインダー



5 被覆アーク溶接・クレーン運転作業

- ・野外の溶接や大型機械据付に用いられる被覆アーク溶接(手棒、手アークとも呼ぶ)
- ・5t未満のクレーン操作



3 フォークリフト・動力プレス

- ・フォークリフト
- ・プレス機械による、曲げなどの板金加工



6 小型移動式クレーン・玉掛け作業

- ・トラックに付属するクレーン操作
- ・玉掛け(クレーンに荷物を掛ける作業)



4 炭酸ガスアーク溶接作業・工作基本

- ・最も一般的に用いる溶接の炭酸ガスアーク溶接(半自動溶接、CO2とも呼ぶ)
- ・ボール盤、ヤスリの使い方など金属工作基本



7 TIG溶接作業

- ・プラント配管の溶接や、ステンレス器具の製造に用いられるTIG(ティグ)溶接

受講の流れ

受講開始月・コースによって、受講順が異なります。

ビジネススキル講習付コース	
5・11月入所	1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7
8・2月入所	1 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4
基本コース	
6・12月入所	2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7
9・3月入所	5 ▶ 6 ▶ 7 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4

資格関係(詳細はp.31へ)

修了時に
取得できる資格

アーク溶接特別教育修了証、ガス溶接技能講習修了証、フォークリフト運転技能講習修了証、小型移動式クレーン運転技能講習修了証、クレーン運転の業務に係る特別教育修了証、玉掛け技能講習修了証、自由研削といしの取り替え等の業務に係る特別教育修了証、粉じん作業特別教育修了証、動力プレスの金型等の取付け、取外し又は調整の業務に係る特別教育、小型車両系建設機械運転の業務に係る特別教育修了証

取得可能な資格

JIS溶接技能者評価試験(アーク溶接、半自動溶接、TIG溶接)

※訓練期間中、受講生のみなさんが取得した技能を活かして任意に受験して取得できる資格の一例です。(但し、合格を保証するものではありません。詳細は各実施機関へお問い合わせください。)